

学力テスト

共産党議員質問 区教委に責任も

足立区教育長が陳謝

足立区教育委員会が東京都の学力テスト問題を区立小中学校長に事前配布したなどの問題で、斎藤幸枝教育長は二十一日の区議会本会議で、「足立区の子どもたちをはじめ多くの区民の方に多大な迷惑をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます」と陳謝しました。日本共産党のぬかが和子区議の質問に答えたもの。

足立区では、区内のある小学校で校長らが児童に正解を誘導するなどの不正をおこなっていたことが明らかになり、校長が懲戒処分を受けました。区教委のテスト問題事前配布が明らかになったことで、区教委自身が成績アップを狙って不正をおこなおうとしていた可能性があると大きな問題になっています。

ぬかが議員は、代表質問でこの問題を取り上げ、「今回の一連の事件は一学校の問題ではなく、点数と順位のみにとどまった区教委自身の姿勢が招いた結果だ」と指摘。区議会でも与党議員が学力テストの結果を、「学校名をあげ公開せよ」などと競争をあおってきた問題も背景になっていると批判しました。

斎藤教育長は陳謝するとともに、数値にもとづく順位の公表が、こうした「不適切な行為」の遠因になったとの見解を示しました。

また「当時の教育委員会事務局の一定の責任は避けられない」と、区教委の責任にも言及しました。

事前配布された学校長からさらにテスト問題が漏れいっていたのではないかとこの疑惑については、この日の答弁でも否定しました。ただ、「秘